

「協定校との第 16 回オンライン言語交流プログラム（フランシスコ・デ・ビトリア大学）を実施しました」

【内容】

国際センターでは5月31日（火）に本学協定校であるフランシスコ・デ・ビトリア大学（スペイン）と第16回オンライン言語交流プログラムを実施しました。本プログラムはLanguage Exchange（言語交流）をテーマに、学生の語学力向上およびコロナ禍によって減少した国際交流の場を提供する事を目的に一昨年10月より実施されています。

第16回目となった今回は、本学から学生5名と職員2名、フランシスコ・デ・ビトリア大学の学生5名と職員1名、計13名が参加しました。

プログラム当日は、両大学関係者による挨拶から和やかな雰囲気が始まり、その後、両大学の学生より、それぞれの大学及び大学所在地（神奈川県横浜市、マドリッド）について英語でプレゼンテーションが行われました。その後、1グループあたり4～5人に分かれ、お互いの言語や文化、生活様式等の様々な質問・トピックについて英語を用いて話し、積極的に異文化交流を楽しんでいました。

プログラム後に回収したアンケートでは、参加者の全員が「とても楽しかった」もしくは「楽しかった」と回答しました。本学の学生からは「すごく楽しかったです！思っていることをうまく伝えられなかったりして悔しかったです、私のスペイン語を理解しようとしてくれてとても優しくかったです。」という感想が挙がり、フランシスコ・デ・ビトリア大学の学生からは「今回のイベントに参加して良かったです！同年代の日本人学生と話すのは面白かったです。このような機会がもっと増えていくことを願っています。」といったコメントがありました。

2022年に入り、徐々に増えてきている国際交流の機会ですが、国際センターでは引き続き協定校との言語交流プログラムを実施する予定です。是非このような機会を利用して、派遣交換留学先選択の参考にする等、今後活かしてもらえることを期待しています。

